

# 広報えびな

編集・発行

海老名市役所 広報広聴課

〒243-0492

神奈川県海老名市勝瀬175番地の1

☎ (046) 231・2111

URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>

\*この広報は再生紙を使用しています。



来年度からは後期基本計画によるまちづくりがスタート

表1・部門別市民提言反映状況

反映状況 部 門	取り入れた もの	一部取り入 れたもの	取り入れな かったもの	合計
健康・福祉	60	34	13	107
教育・文化	56	31	43	130
環境・防災	110	46	9	165
都市整備	71	30	18	119
産業振興	30	35	25	90
行財政部門	28	22	24	74
全 体	355	198	132	685

第三次総合計画は、平成3年度から22年度までの、20年間のまちづくり計画ですが、今年度で前期基本計画が終了し、来年から後期基本計画がスタートします。これに合わせて2年前から、市民のみなさんと市の協働作業で、後期基本計画の策定を進めてきました。

計画策定に際して、みなさん の市民提言は次の5つの方法で、総数685件いただきました。

①市民策定チーム：公募によ

る38人の市民のみなさんが参加

し、総合計画の5部門に分かれ

てチームを編成。平成10年11月

から1年間、各チームごとに提

言をまとめ、去年10月に市長に

「環境監視員制度の導入を」「循環バス路線の整備を」——市では、市民提言という形で市民のみなさんとともに、海老名市第三次総合計画後期基本計画の策定を進めています。みなさん提言は、市民集会での意見や提案カードなどのかたちで寄せられ、後期基本計画の策定に生かされました。今回は、その計画への反映結果をお知らせします。

提言書を提出しました。提言数は271件です。

②市民集会：後期基本計画の素案策定前年の平成10年11月と、策定後の今年1月から2月の2度に分け、コミセンなどで延べ24回開催しました。提言数は130件です。

③提案カード：市民集会の開催時期に合わせて2回募集しま

した。提言数は146件です。

④Eメール：今年の市民集会

の開催に合わせて、専用のメー

ルアドレスを設けて募集しま

した。提言数は4件です。

⑤小中学生の作文：去年4月

から9月にかけて市内小中学生

から募集しました。提言数は134

件です。

これらの提言はすべて、市職員で構成する総合計画後期基本

計画策定メンバーと、各事業の

所管課で、計画への取り入れに

について検討を行いました。

その結果、後期基本計画に取

り入れた提言は全体の52%355件、

取り入れなかった提言が19%132件)でした(グラフ1)。

提言の取り入れについては、

市としても進めたいが、厳しい

が難しいと判断したものは、取

り入れなかつたものとしていま

す。しかし、これらの提言には、

今後状況の変化によっては後期

件です。

困難物の行政による回収・リサ

イクル、自然環境との共生のた

めの研究施設設置

○取り入れたもの：循環バス路

線の整備、駅周辺の道路整備、かし

わ台駅ロータリーの設置

○取り入れなかつたもの：駿河

の遊具作りなどで交流できる場

づくり、地域福祉計画の策定

○一部取り入れたもの：デイホー

ム的な場(高齢健常者の方々の

交流の場)の整備、社会福祉協

議会の充実、保育内容の充実、空き教室を利用した民営の学童

保育、養護学校への送迎援助

○取り入れなかつたもの：高齢

者・障害者の方々に緊急用携帯

電話を貸与、社会福祉協議会に

ボランティア切符制度(ボラン

ティア参加者に切符を交付し必

要なとき)にその切符でボランティ

アを利用する

○取り入れたもの：障害児と健

常児がともに遊び遊ぶことで相

互理解と共助の精神を養う教育

を、開かれた学校づくり推進委

員会の設置、シティガイド(名

所旧跡や街を案内する人)の設

置

○取り入れなかつたもの：処理

も掲載します。

後期基本計画の策定では、市

民の声を反映するため、アドレ

スは1面題字右側)へ

も掲載します。

反映結果について、企画課で

紹介しました。すべての提言の

反映結果については、企画課で

資料を提供しています。また、

5月22日から市のホームページ

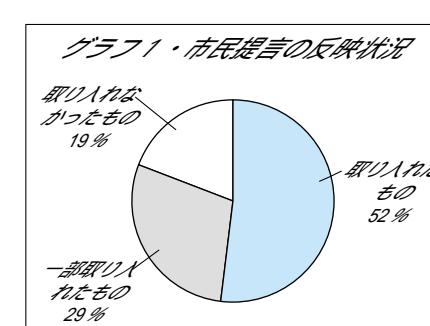
(アドレスは1面題字右側)へ

て公表していく予定です。

この広報は再生紙を使用しています。

海老名市第三次総合計画後期基本計画

# みなさんの声を策定に反映



あるふるさとを…  
区の構築  
農業・商業・工業などの産業間の相互連携で市への集客性を高める、高齢者・障害者の方々の技能や経験を活用した施策の推進、IT(情報技術)産業の中心地

○取り入れなかつたもの：NPO(非営利組織)や市民参加型福祉サービス団体の活動に市民が参加しやすいシステムづくりを、インターネットの活用、子どもたちの意見を採用、隣接市町村との関連性を考慮した計画策定や事業実施、総合計画に計画達成度の表示を、縦割り行政の弊害をなくし横の連絡調整を密にして行政の一体化を

○一部取り入れたもの：計画段階から障害者の方々の参加を

公共施設を使いたいときに使えるように、既存の各種記念日(「映画の日」など)や市で新規考

察の日」など)に、公共交通機関の利用を促進するように、既存の各種記念日(「螢の日」など)にふるさとまつりなどの市の催し

を関連づけて運営、幹部職員に男女の均等な登用を、市の催し

は職員がボランティアで運営し

職員自身がボランティア活動の模範に

○取り入れなかつたもの：福祉

サービス課・健康生きがい課の

設置、子ども関係の事業主管課の一本化

○取り入れなかつたもの：福

祉課・健康生きがい課の

設置、子ども関係の事業主管課の一本化

○取り入れなかつたもの：福